

＊ Autumn Concert in SAKAI

第41回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば

# 群馬交響楽団 演奏会

オータムコンサート in SAKAI

▶ 予定演奏曲目

チャイコフスキー／歌劇《エフゲニー・オネーギン》からポロネーズ  
ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 口短調 作品104

チャイコフスキー／バレエ音楽《くるみ割り人形》組曲 作品71aから  
「行進曲」「金平糖の踊り」「あし笛の踊り」「花のワルツ」

チャイコフスキー／バレエ音楽《眠れる森の美女》組曲 作品66a

※曲目は都合により変更する場合があります。

▶ チケット【全席指定】

一般 2,000円(友の会会員1,800円)

学生(高校生以下) 1,000円(友の会会員 900円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

▶ チケット発売日

7月20日(木) ……9:00から友の会会員電話予約  
(境総合文化センターのみで受付/席の指定はできません)

7月22日(土) ……9:00から一般窓口販売、13:00から一般電話予約

▶ プレイガイド

伊勢崎市境総合文化センター／伊勢崎市文化会館

伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ

▶ お問い合わせ

伊勢崎市境総合文化センター TEL 0270-76-2222

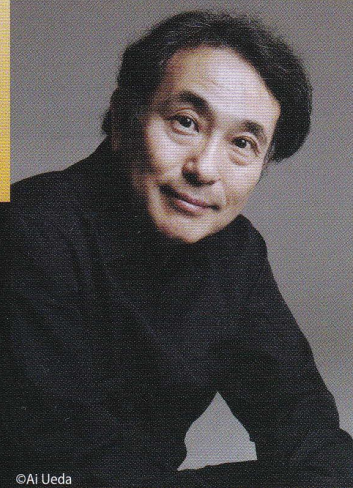
<http://www12.wind.ne.jp/sakaibunka/>

## 2017 10.21 土

伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

18:00開場 18:30開演

Conductor



©Ai Ueda

指揮  
山下一史  
Kazufumi Yamashita

Cello



©Paul Duxfield

チェロ  
伊藤悠貴  
Yuki Ito



# Autumn Concert in SAKAI

第41回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば

## 群馬交響楽団演奏会

オータムコンサート in SAKAI



©Ai Ueda

Conductor

指揮  
山下一史  
Kazufumi Yamashita

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月より亡くなるまで、カラヤンのアシスタントを務める。

ヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を歴任。2006年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務めた。

2008年9月に行われた愛知県文化振興財団主催によるヴェルディ「ファルスタッフ」の公演において「第17回三菱UFJ信託音楽賞」を受賞。2011年2月にはシューマン「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月、2016年3月には水野修孝「天守物語」の上演を成功に導き、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授。2016年4月より千葉交響楽団(旧ニューフィル千葉)音楽監督に就任。



©Paul Duxfield

Cello

チェロ  
伊藤 悠貴  
Yuki Ito

平成元年東京出身、15歳で渡英。21歳でブラームス国際コンクールおよび、英国の最高峰ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人初優勝、現在最も注目を集める若手チェリストの一人。

2011年名門フィルハーモニー管弦楽団定期公演にてメジャーデビュー、国内外主要オーケストラ、V.アシュケナージ、D.ゲリンガスらと共演。2016年には宮沢賢治生誕120年記念NHK全国放映リサイタルを開催、その映像は世界各国で放映され、100年記念はヨーヨー・マが行った大役を担った。ロイヤル・フェスティバル・ホール、ウィグモア・ホール、英国王室御前演奏等ロンドンを拠点に、欧州、北米、アジア、アフリカ各国から公演に招かれ、献呈作品の世界初演も多数行う等、国際舞台での活躍を続けている。

デビュー盤『ラフマニノフ：チェロ作品全集』に続き、2017年11月15日には2ndアルバム『ザ・ロマンティック』(ソニー・ミュージック)をリリース予定。

2015年英国王立音楽大学首席卒業。チャンネル・アーティスト。

公式HP: [www.yukiitocello.com](http://www.yukiitocello.com)

Orchestra

群馬交響楽団

Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年、「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2016年度までに延べ630万人を超える児童・生徒が鑑賞、1982年からは高校音楽教室が開催されるなど、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1981年からは群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「ブラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

2003年にはNHKテレビ番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で楽団の草創期が紹介され、2004年には天皇皇后両陛下、デンマーク国王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催した。2014年に定期演奏会が500回を数え、2015年11月には創立70周年を迎えた。

群馬交響楽団は、大友直人音楽監督のもと、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開している。